



メールを手放すことが本当の解決策か？！ ～クラウドに踏み切れない...その時の選択～

シーティーシー・エスピー株式会社
ミラポイント ジャパン株式会社

伊藤忠テクノソリューションズグループ
CTC SP

MIRAPPOINT®

i. 会社紹介、自己紹介

- メールサーバ市場の状況
- TCO削減を実現する方法
- Mirapoint Message Serverのご紹介

会社概要

- 1997年創業。カルフォルニア州サニーベールに本社を設立、世界各地に支社を展開
- 2000年に日本法人、ミラポイントジャパン(株)を設立
- 日々、世界中で1億2,000万超のミラポイント製メールボックスが安全に稼働
- 2008年にメールアーカイブメーカー「Intradyn」を買収
- 業界唯一のメールサーバ、メールセキュリティ、メールアーカイブのアプリケーションメーカー



ミラポイントはセキュア メッセージングのエキスパート

会社概要

会社名

シーティーシー・エスピー株式会社 (略称 CTCSP)

英文社名

CTCSP Corporation

本社所在地

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-16-7 中村ビル
TEL: 03-5712-8010(代)
URL: <http://www.ctc-g.co.jp/~ctcsp>

代表者

代表取締役社長 熊崎 伸二

創立

1990年4月1日

資本金

2億円

社員数

149人(2008年4月現在)



品質マネジメントシステム
ISO9001」認証取得



駒沢オフィス内観

2000年より、代理店としてMirapoint製品の販売を開始。

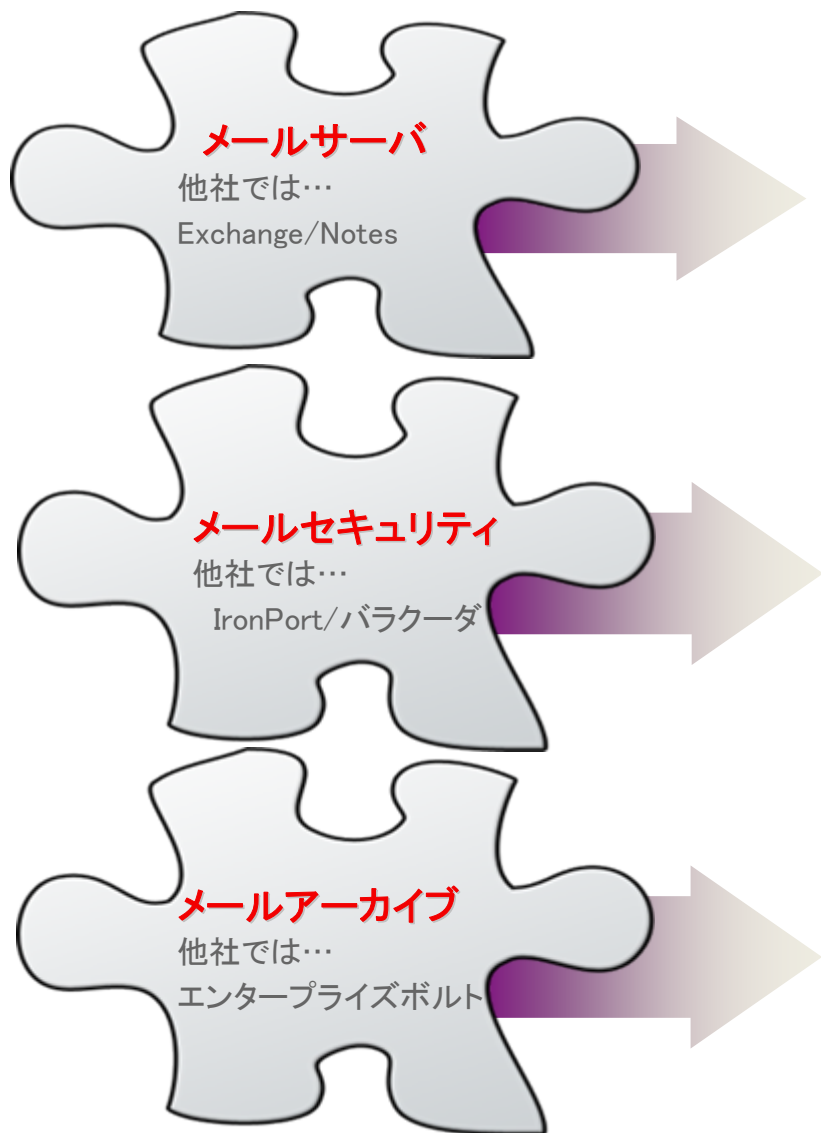
MirapointとCTCSPが協力し、導入前のプリセールスから、

全国24時間365日オンサイト保守まで一括したサポートをご提供。

伊藤忠テクノソリューションズグループ
CTCSP

MIRAPPOINT®

ミラポイント製品の特長



『アプライアンス』というコンセプトで、
メール環境を包括的にサポート

Mirapoint Message Server



Mirapoint RazorGate



Mirapoint RazorSafe



メールサーバを取り巻く状況

メールサーバ選定の課題と悩み

ビジネス環境における電子メール

電子メールはビジネスの重要なコミュニケーション基盤として
確立されたコミュニケーションツール

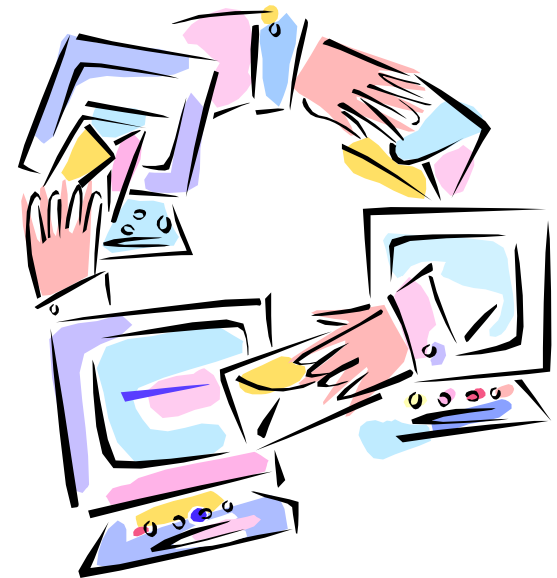
- ミッションクリティカルな情報の伝達
- 大容量添付ファイル
- 流通量の増大

ビジネスを支えるための高い期待値

- 「安定運用」
- 「高いレベルのセキュリティ」
- 「低いTCO(総所有コスト)」
- 「容易な導入・管理・運用」

インフラとして定着

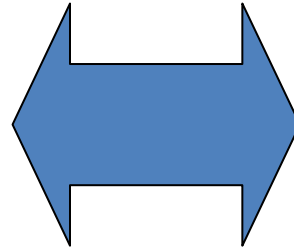
- 直接利益を生むものではないが
なくてはならない基盤ツール



メールシステム管理者の悩み

高いレベルの安定性と高機能を持ったシステムを低コストで実現することを求められている。

- 24時間365日無停止
- スпам検知率100%
- ウィルス検知率100%
- 多彩なクライアント対応
PC/WebMail/携帯/スマートフォン
- 情報セキュリティ
- コンプライス対応

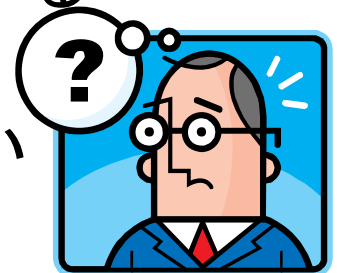


• コスト削減

矛盾した要望への対応が求められている

さらに

新しいテクノロジーのクールな分野ではない
直接利益を生むシステムではない



管理者にとって理想のメールサーバとは

安定してメールを送受信する

日々の運用に手がかからない

存在を意識しないメールサーバ

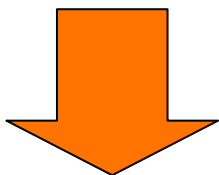
縁の下の力持ち



メールサーバのトレンド

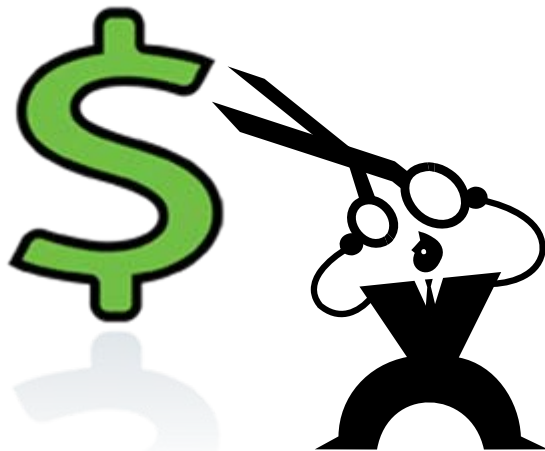
手作り・寄せ集めからの脱却

- 構築はできても運用負担が過大!!



製品の採用

クラウド型メールサービスへの移行

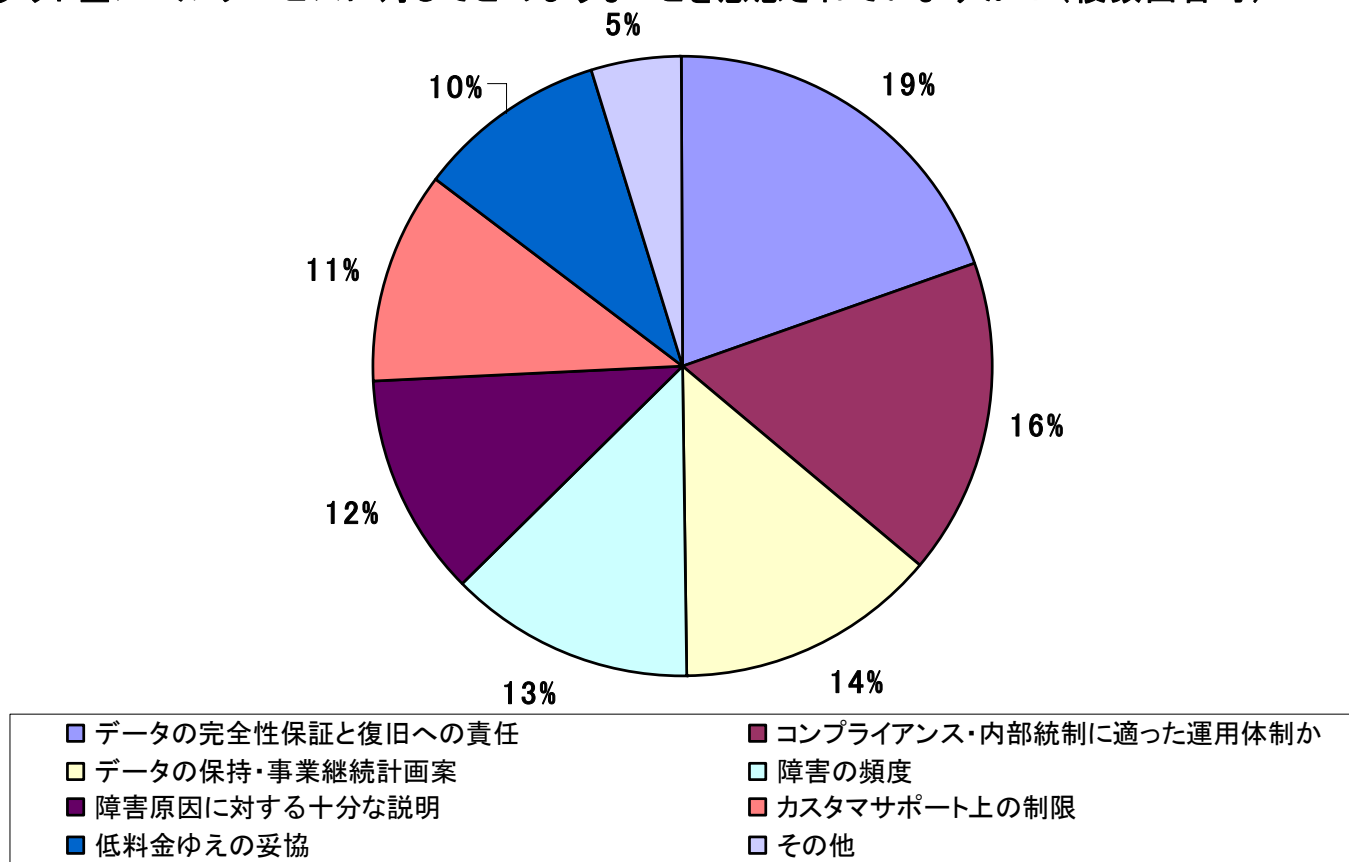


目的:

- 運用負担の軽減
- 運用コストの削減

市場の本音： クラウド型メールサービスに対する懸念事項

クラウド型メールサービスに対してどのようなことを懸念されていますか？（複数回答可）



- 集計期間:2009年5月21日から2009年6月5日 回答数:109件（ミラポイント調べ）
- 本アンケート内のクラウド型メールサービスとは検索エンジン会社等が一般向けには無料で提供しているメールサービスの企業、教育機関向けメールサービスを意味する

クラウドに対する懸念

サービス停止の恐怖／サポート体制

- サービスが停止したときのサポートはどうなるのか？
- 膨大なユーザを抱える中、障害原因の説明など、一社(顧客)ごとに丁寧なサポートが提供できるのか？
- サポートを受ける上で(電話による問い合わせ)、制限が多いのでは？

データセキュリティや法規制

- データの安全性、完全性、復旧は保証されるのか？
- 各社(顧客)が定めるコンプライアンス、内部統制基準へ確実に適用できるのか？
- データがオフショアに移される可能性はないのか？

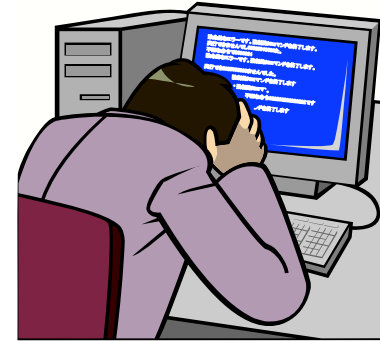
ベンダーの事業継続性

- 災害や障害、倒産や買収、合併時にデータの安全性を保証し、サービスを提供するだけの事業継続計画案を提示できるのか？
- データへの保証、責任

クラウド型メールサービスを採用する場合の課題

障害発生時の柔軟な対応が不可能

- サービスレベルは制御不能
- 静かに復旧を待つ
- ユーザ間の情報共有が重要



データセキュリティ、法令準拠

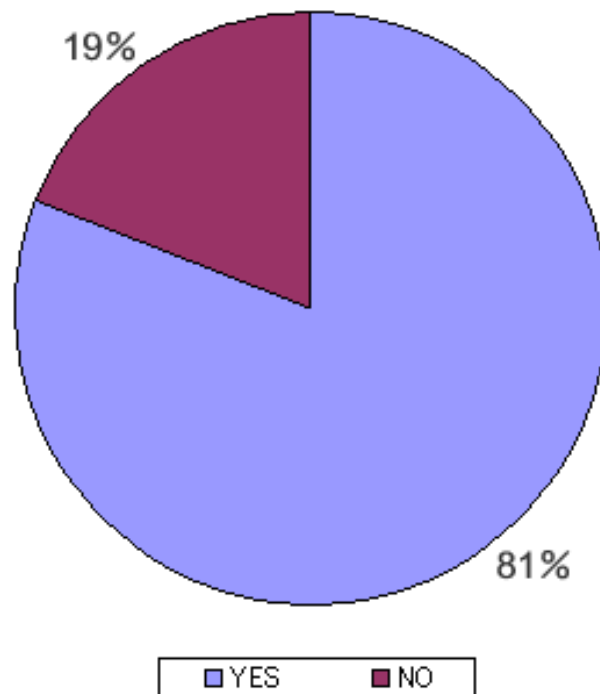
- 国外へのデータの持ち出し
知的財産の持ち出し制限
- 国内法の適用制限
現地司法当局によるデータアクセス
- データ保全、監査証跡の保存



思っていたほど安くない

市場の本音： メールサーバの社内運用は強く望まれている

元々、運用管理が容易でTCOを削減できるのであれば、個人情報を含むメールシステムはやっぱり手元に置いておきたいと感じる。



アプリケーション型
メールサーバだからこそ、
実現可能

集計期間：2009年5月21日から2009年6月5日 回答数：109件 （ミラポイント調べ）

ソフトウェア製品の特徴

1. 高機能、高付加価値

- カレンダー
- ワークフロー
- カスタマイズ可能

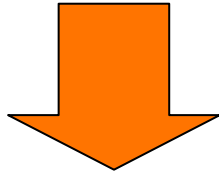
2. 充実した運用ツール

- オプションツール
- 各種のドキュメント

ソフトウェア製品のデメリット

高機能

- 使われない機能が多い
- 豊富な機能の影響でシステムが重くなり多くのリソースを要求する
- 頻繁なセキュリティパッチの対応が必要である

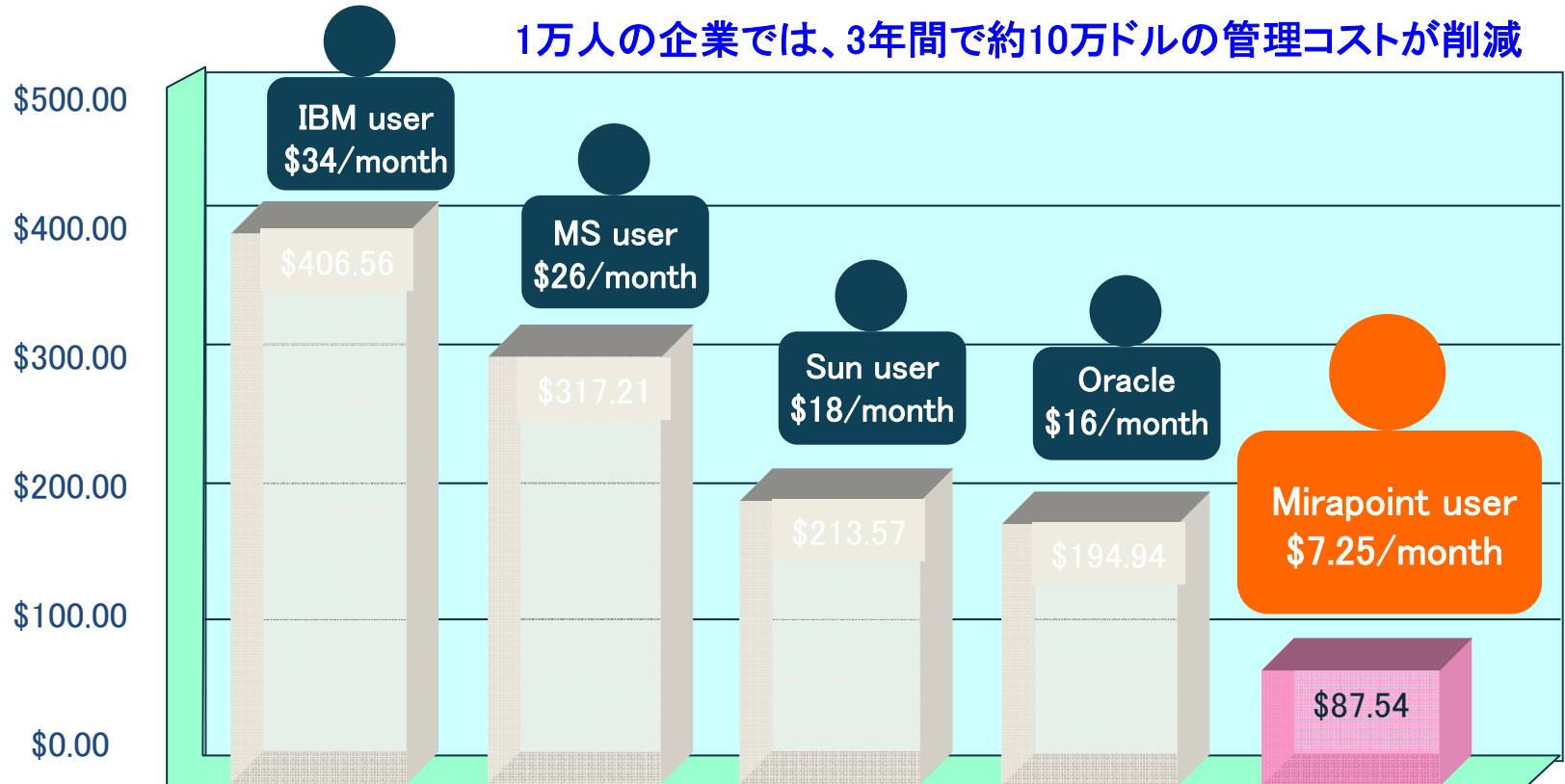


不要な機能に対応するために人的、設備的なコストが増加

アプライアンスのTCOにおける優位性

主要なメッセージベンダーによるユーザあたりの3年平均TCO

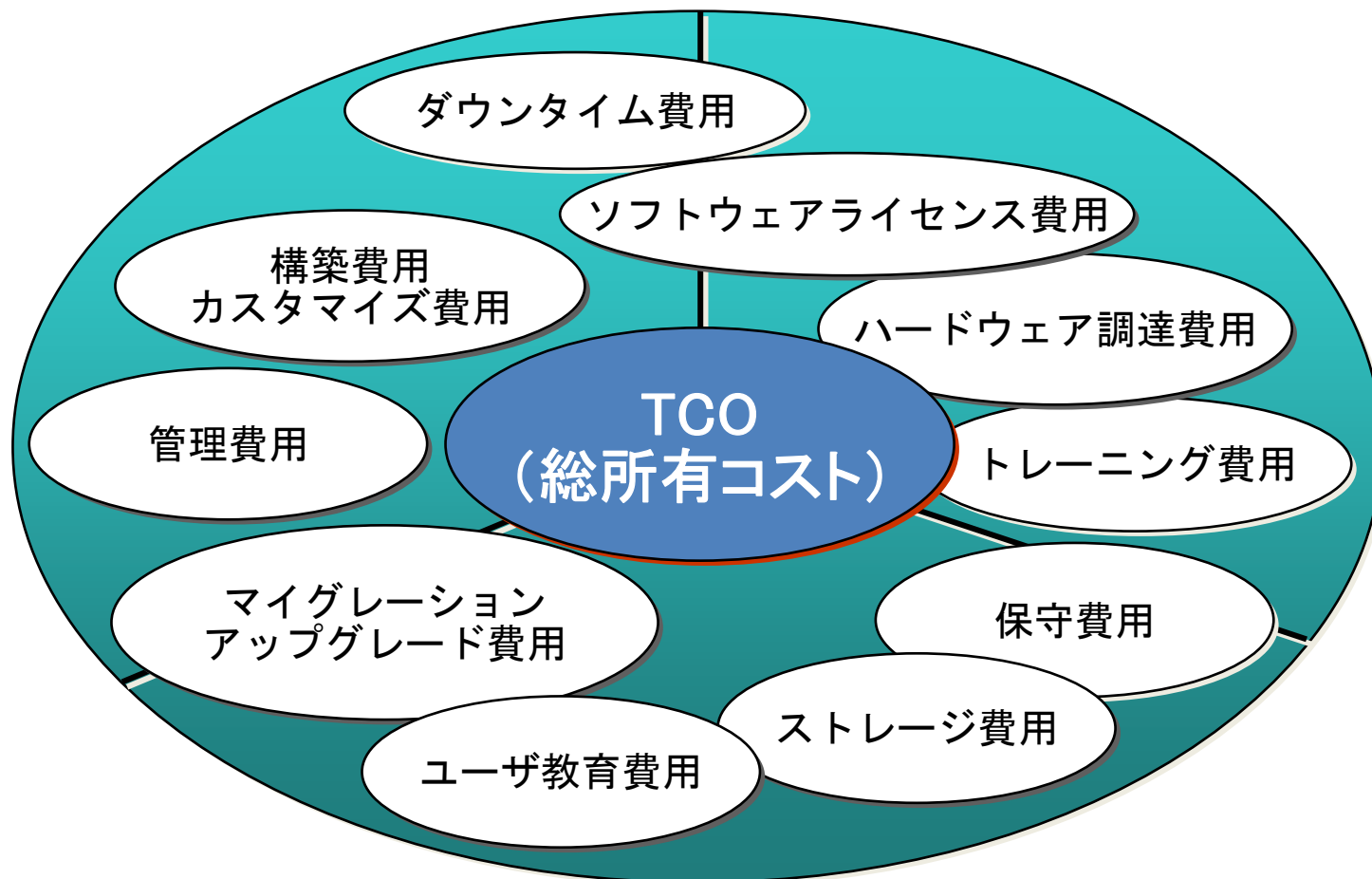
1万人の企業では、3年間で約10万ドルの管理コストが削減



メールサーバーのコストを洗いだし

TCO削減を実現するアプライアンス

メールサーバのTCO構成要素



一見忘れがちな様々な費用から構成されているTCO

メールサーバのTCO構成要素

TCO構成要素の分類

導入費用	保守管理費用	その他費用
<ul style="list-style-type: none">ハードウェア調達費用ソフトウェアライセンス費用構築費用カスタマイズ費用導入トレーニング費用ユーザ教育費用	<ul style="list-style-type: none">ハードウェア保守費用ソフトウェア保守費用パッチ適用作業費用設定変更作業費用チューニング作業費用アップグレード費用マイグレーション費用障害対応費用	<ul style="list-style-type: none">ユーザサポート費用ユーザ教育費用管理者教育費用ダウンタイム費用

導入後に随時発生する費用は見逃されがちです

メールサーバのTCO構成要素

TCO構成要素の分類

導入費用	保守管理費用	その他費用
<ul style="list-style-type: none">ハードウェア調達費用ソフトウェアライセンス費用構築費用カスタマイズ費用導入トレーニング費用ユーザ教育費用	<ul style="list-style-type: none">ハードウェア保守費用ソフトウェア保守費用パッチ適用作業費用設定変更作業費用チューニング作業費用アップグレード費用マイグレーション費用障害対応費用	<ul style="list-style-type: none">ユーザサポート費用ユーザ教育費用管理者教育費用ダウンタイム費用

人が稼動するコストの割合が非常に大きく、削減が困難です

TCO削減要求に対するミラポイントの答え

簡単な構築を実現することで導入時のコストを抑制

基本的な作業はたったこれだけ

- TCP/IPネットワーク設定
- メール配送経路の設定
- ユーザ登録(ただしディレクトリと連携する場合には省略する事も可能)

実績のある安定稼動で運用時の管理コストを抑制

メールに特化したチューニングを実施済みの高速性
セキュリティ対策済みでパッチ適用の必要性が激減

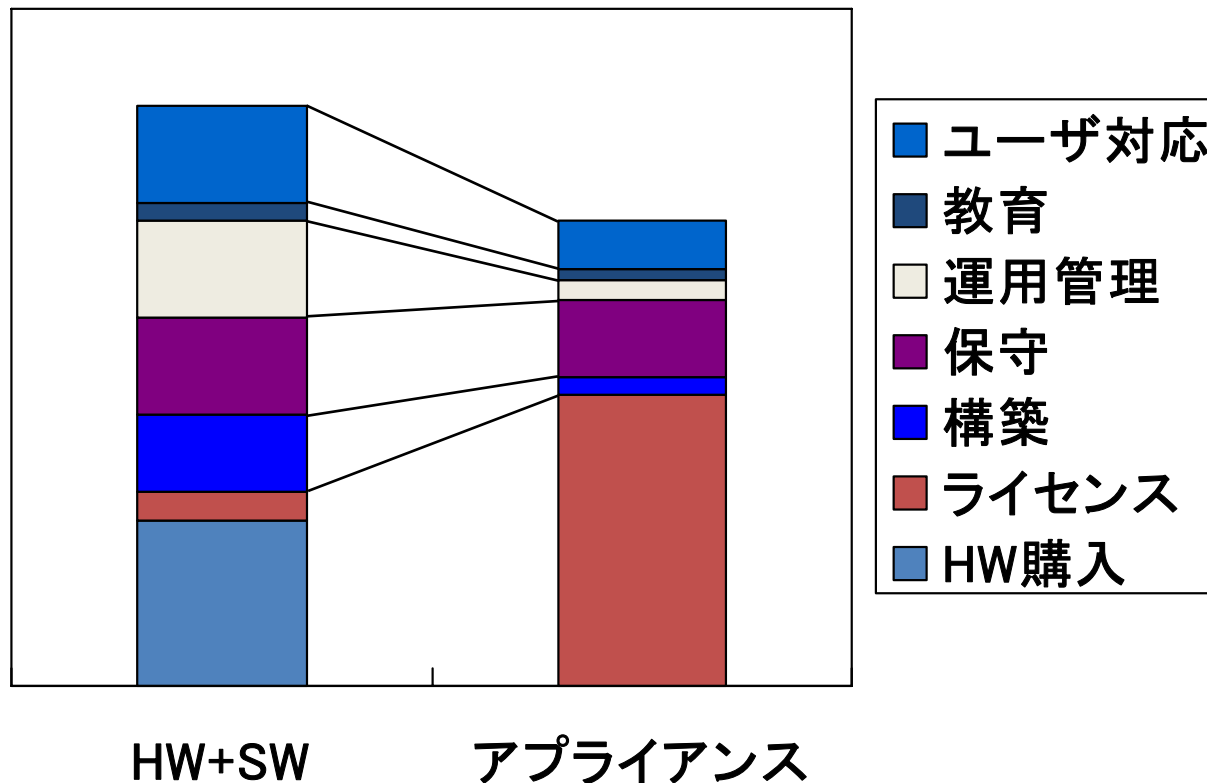
シンプルな構成にすることで障害対応コストを抑制

クラスタ構成またはコールドスタンバイ機の使用により障害対応を最小限に抑制
対応作業を簡素化することで高度な管理者教育が不要
サービス停止が最小限となるためユーザサポートコストも削減可能

管理コストの大幅な削減を実現可能なアプライアンス

TCO内訳のイメージ比較

- HW+SW: メールサーバに必要なコンポーネントを異なるメーカーから調達
- アプライアンス: メールサーバに必要なコンポーネントを統合した専用機



管理者にとって理想のメールサーバとは(復習)

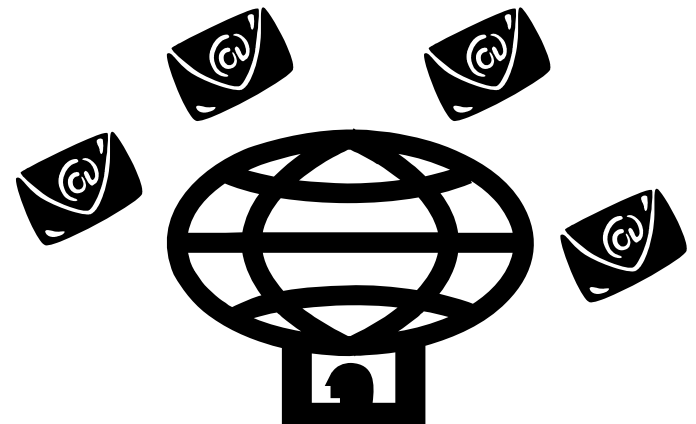
安定してメールを送受信する

障害対応作業が少ない安定運用

日々の運用に手がかからない

パッチリリース作業がない(少ない)
パッチの管理がシンプル

存在を意識しないメールサーバ



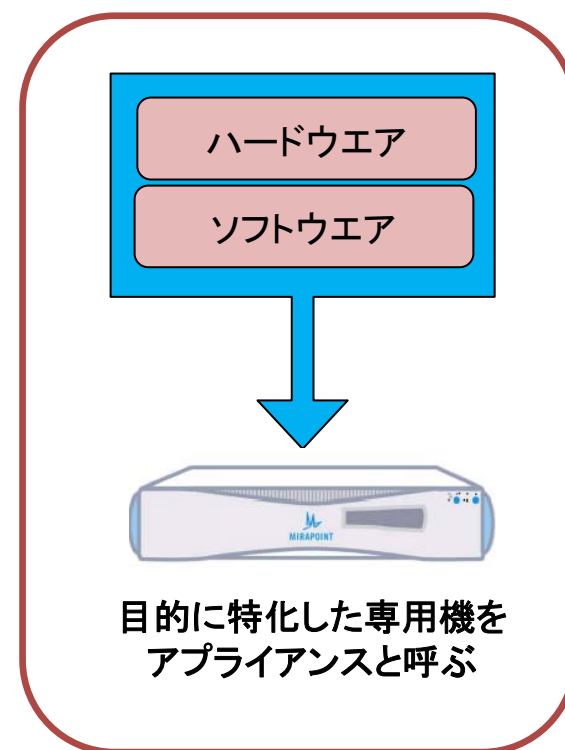
シンプル ⇒ 工数がかからない ⇒ 低コスト

どうしてアプライアンスは管理コストが低いのか？

アプライアンスとは、事前にチューニングされたのハードウェアとソフトウェアを組み合わせ、特定用途向けに高度に最適化した製品

アプライアンス方式の主な特長

- 容易で迅速な導入
- ソフトウェアとハードウェアが緊密に連携、稼動することを目的に設計されているため安定したパフォーマンスが確立
- アップグレード/アップデートが容易
- 複雑な設定が不要
- 管理が容易
- 単一のメーカーによるシンプルなサポート体制



アプライアンスの特長 ⇒ 管理の容易性 ⇒ **低いTCO**

構築が簡単

構築作業量の比較

Mirapointアプライアンス	汎用OS+メールサーバソフト
<p>アプライアンス設置 ネットワーク設定 アカウント登録</p> <p>最低限の設定で すぐに使い始める ことが可能</p>	<p>HW設置 OSインストール アプリケーションインストール MTA POP/IMAP WebMail ネットワーク設定 セキュリティチューニング 性能チューニング アカウント登録</p>

運用管理が簡単

運用負荷を軽減

特殊な技術、高度な知識や経験は不要

	Mirapointアプライアンス	汎用OS+メールサーバソフト
パッチ管理	<ul style="list-style-type: none">• Mirapointからのパッチリリースを確認 (数ヶ月に一度のリリース)• GUIよりインストール、アンインストール可能	<ul style="list-style-type: none">• OSおよび各種アプリケーションのパッチリリースを個別に確認 (毎月、複数のセキュリティパッチがリリースされる)• システムの構成に合わせて適用の必要性を検討• パッチの依存関係を確認• 切り戻し方法の確認
機能追加	ライセンス追加による有効化 最低限のシンプルな設定	ソフトウェア追加および設定変更が必要

Mirapoint製品を選ぶ理由の一つが「TCOの低さ」



顧客が認める「Mirapointの低いTCO」

さまざまな要望への対応

メールシステムへのさまざまな新規要望、カスタム要望

- Webメールのカスタマイズ
- 応答コードの変更
- 通知メッセージの変更
- 情報漏洩対策
- 誤送信防止機能



まず必要性の見極めをしましょう

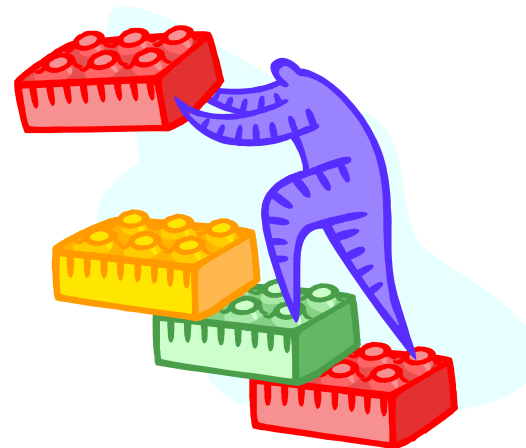
- ビジネスの推進に必要な機能なのか？



パーツ(製品)の組み合わせで実現

- 導入期間、導入コストの短縮
- カスタマイズ部分の保守コストを抑制

基幹となるインフラは
シンプルさを維持することが
コスト削減の決め手です



Mirapointの提案

価格の安さに惹かれる一方で、ミッションクリティカルな基幹システムであるメールサーバを外部に預けてしまうことに、データ保全上の懸念を感じているユーザー層が存在している

✓現在の課題を解決しながらも社内運用を持続できる方法が必要

現在のメールシステムには、サービスの品質向上とセキュリティの確保が必須だが、一方で運用コストの削減も強く求められる

✓この矛盾した要求を実現する方法が必要



お客様の本音

『手間とコスト安なら、やっぱり手元に置きたいメールサーバ』

それを実現するのが

アプライアンスメールソリューション=MIRAPOINT

～ミラポイントはメールとアプライアンスにこだわり10年の歴史～

再認識すべき、メールの位置づけ

電子メール = 基幹アプリケーション

- ✓メールは業務情報、プライバシー情報の塊です。
- ✓メールの停止は業務停止に直結します。
- ✓メンテナンス作業の主導権は手放せません。

しかし、メールを社内で運用をする上での問題

【管理リソースの不足】

【上層部からのTCO削減要求】

には、クラウド型・メールサービス以外でどう、対応できるのか？！



『アプライアンスメールサーバ』

を検討しませんか？

Mirapoint Message Serverのご紹介

Mirapoint Message Serverの特長

90GB~8TBまでの選べる豊富なストレージ

SANストレージ、N+1クラスタ対応モデル「S7000」

RazorGateのメールセキュリティ機能を搭載可能

障害・災害復旧対策機能

POP3/IMAP4など業界標準プロトコル内蔵

Webメール・Webカレンダー機能

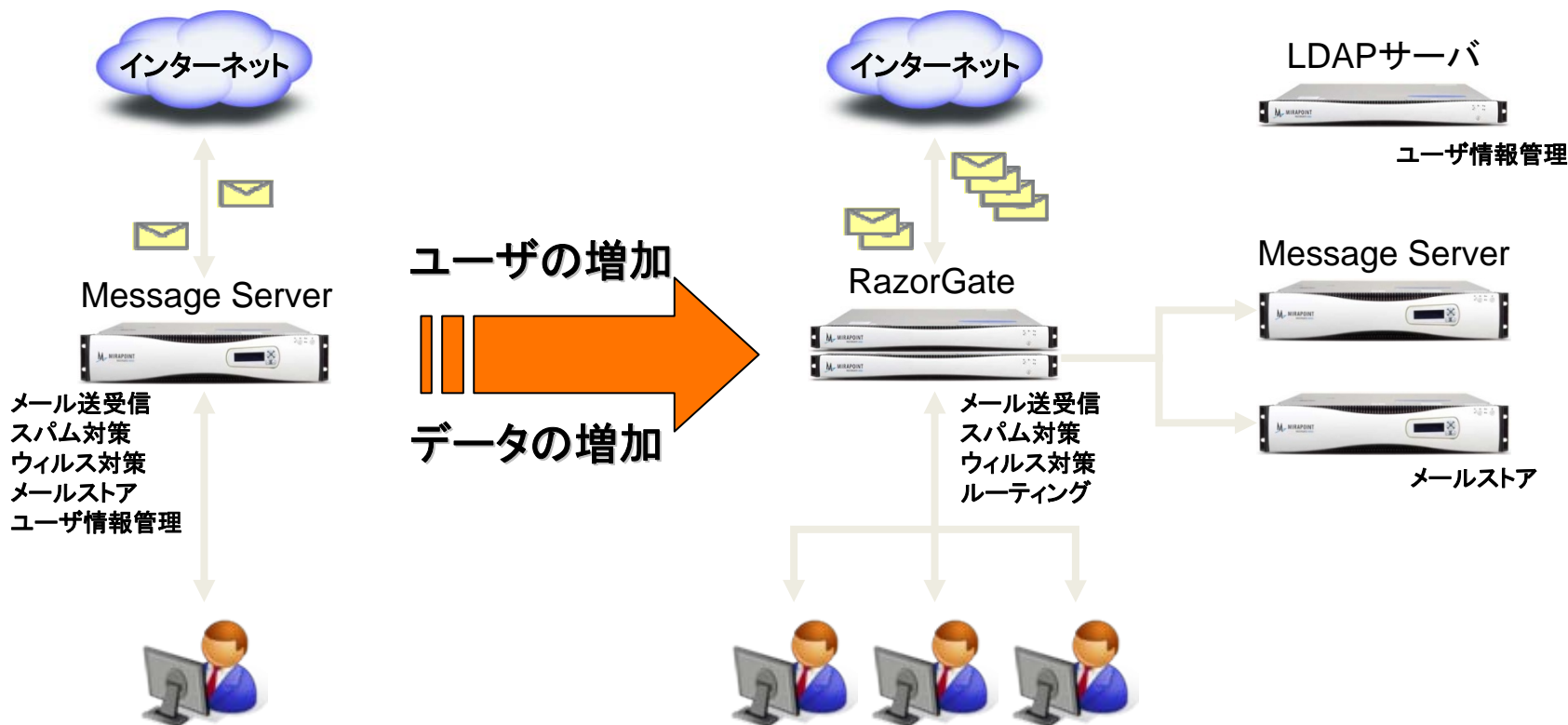
The screenshot displays the Mirapoint Message Server web interface, divided into two main sections. The left section, outlined in orange, shows the email management interface. It includes a sidebar with navigation options like 'メール' (Mail), 'カレンダー' (Calendar), '連絡先' (Contacts), 'タスク' (Tasks), and 'フォルダ' (Folders). The main area shows an '受信トレイ' (Inbox) with a list of messages from 'Taro Yamada' with the subject 'test'. Below the list, the details of a selected message are shown, including the date '2006年 09月28日 木曜日 22時17分53秒 JST', sender 'Taro Yamada <esato@yoke.net>', subject 'test', and recipient 'info@mirapoint.co.jp'. The right section, outlined in red, shows the 'Webカレンダー' (Web Calendar) interface. It displays a monthly calendar for October 2006. The calendar grid shows dates from 01 to 07, with events scheduled for 06 (08:00 AM WorldWideSales) and 13 (11:00 AM 部長会議). A context menu is open over the 20th, showing options like '出席' (Attend), '欠席' (Absent), '主権者に返信' (Reply to organizer), '繰り越しの一覧' (List of carryovers), '削除' (Delete), and '予定のシリーズを削除' (Delete the series).

システム拡張

利用者に影響を与えない容易なシステム強化

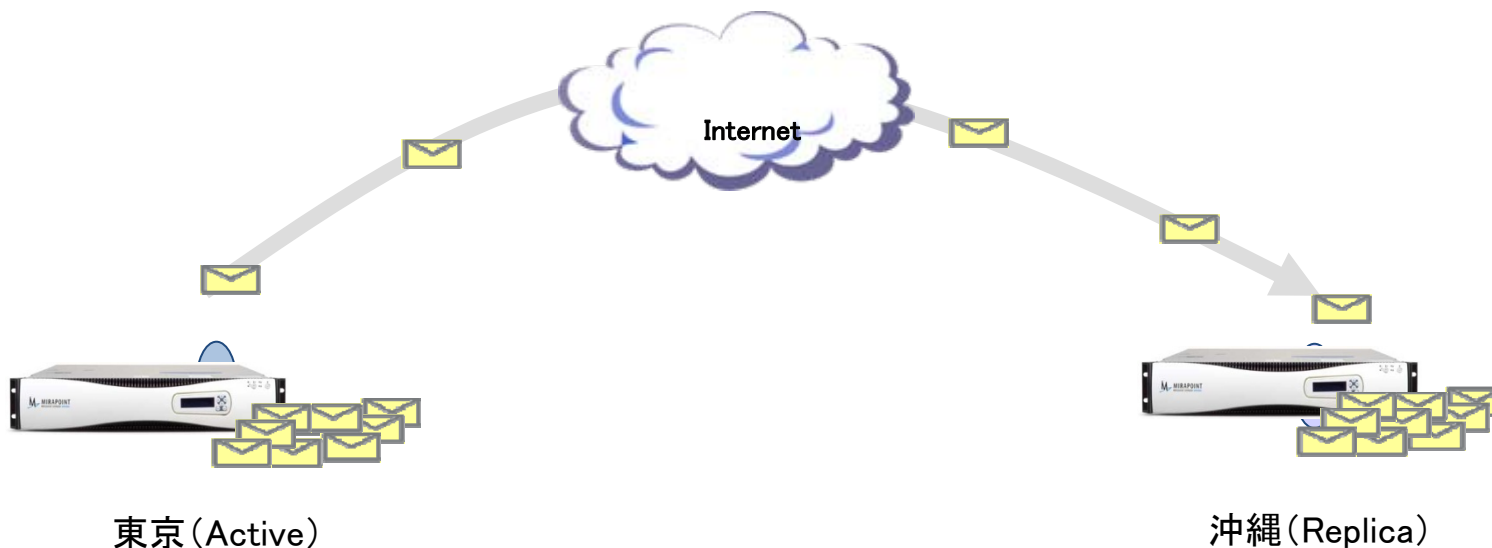
アプライアンスであってもスケールアウトする拡張性を提供

現状のシステムの許容量を超えてもユーザの設定変更なしにシステム増強が可能



優れたTCOのアプライアンスを組み合わせることでディザスタ・リカバリを実現

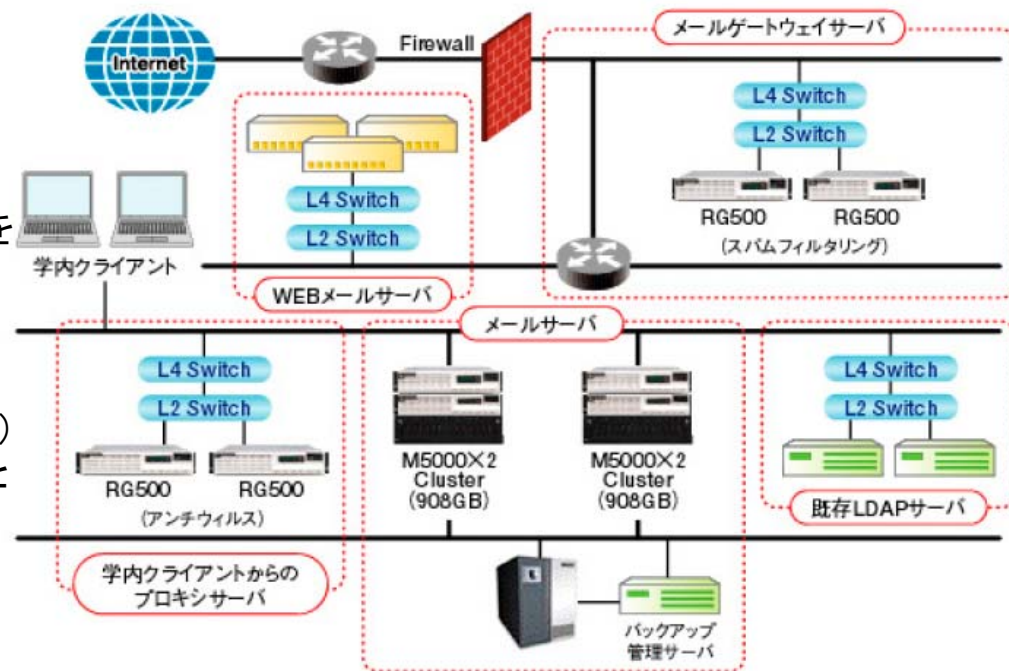
全てのメールデータ、ユーザプリファレンス(アドレス帳など)を定期的にリモートサイトに対して同期コピーを実行
災害や障害によるシステムの停止からサービス復旧までの時間を最小限に抑える事が可能
一般的なバックアップ/リストアと比較して復旧時点の短縮が可能
従来のSANシステムによる大規模なDRIに比べ安価に実現可能



大型事例： 駒澤大学様

メール専用装置ならではの安定稼働と冗長化により 限りなくゼロに近いダウンタイムを実現

- 管理の容易性と安定稼働が2001年から9年間におよぶミラポイントの長期利用の背景
- インターネット側と学内側にそれぞれ2台のRazorGate(メールセキュリティゲートウェイ)を冗長化設置。スパム/ウイルス対策以外に、LDAPと連携させることでSMTPプロキシとPOP/IMAPプロキシを実現
- 冗長化されたMessage Server(メールサーバ)を二組(計4台)設置し、RazorGateの冗長化と共に3Tier(スリーティア)構成が実現。限りなくゼロに近い連続稼働を実現



Mirapoint Message Server 製品群

S7000

- クラスタ構成も構築可能な大規模サイト向けモデル
- ストレージもFC-SANを採用し、最大8TB(実効6.5TB)の大容量を確保
- SnapShotによる高速バックアップ

M7700

- 2Uの筐体でテラバイト級の大容量に対応するミラポイントのハイエンドモデル
- 最大2.3TB(RAID10)+HotSpareDisk搭載
- Intel 6 Core Xeonを二基搭載で負荷の高いワークロード環境にも対応

M7000

- ミドル～ハイエンドモデル
- 最大900GB(RAID10)+HotSpareDisk搭載
- FAN電源ストレージの冗長化に加え
RAIDキャッシュプロテクションバッテリーも装備

M700

- ミドルレンジモデル
- 最大450GB(RAID1)+HotSpareDisk搭載
- RAIDキャッシュプロテクションバッテリーも装備

Mirapoint Message Server
M700



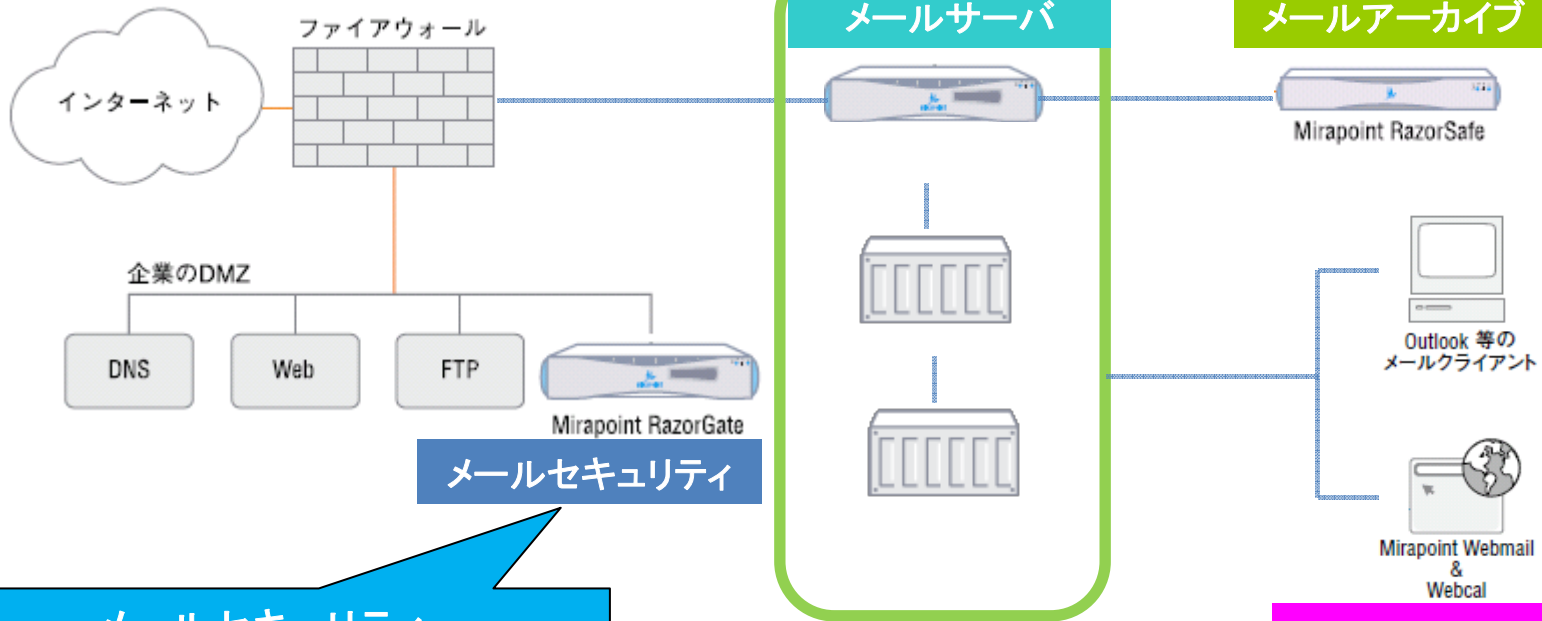
アプライアンスをコンセプトに、 包括的なメール環境を提案

堅牢なメッセージシステム

- 大容量ストレージ
- 個人メールアカウント へのメール転送制御等
- LDAPによるユーザの一元管理

メールアーカイブ

- 電子メールのアーカイブ監視
- 訴訟用の際に証拠として提出
- 詳細な権限制限で一般ユーザにも開放可能



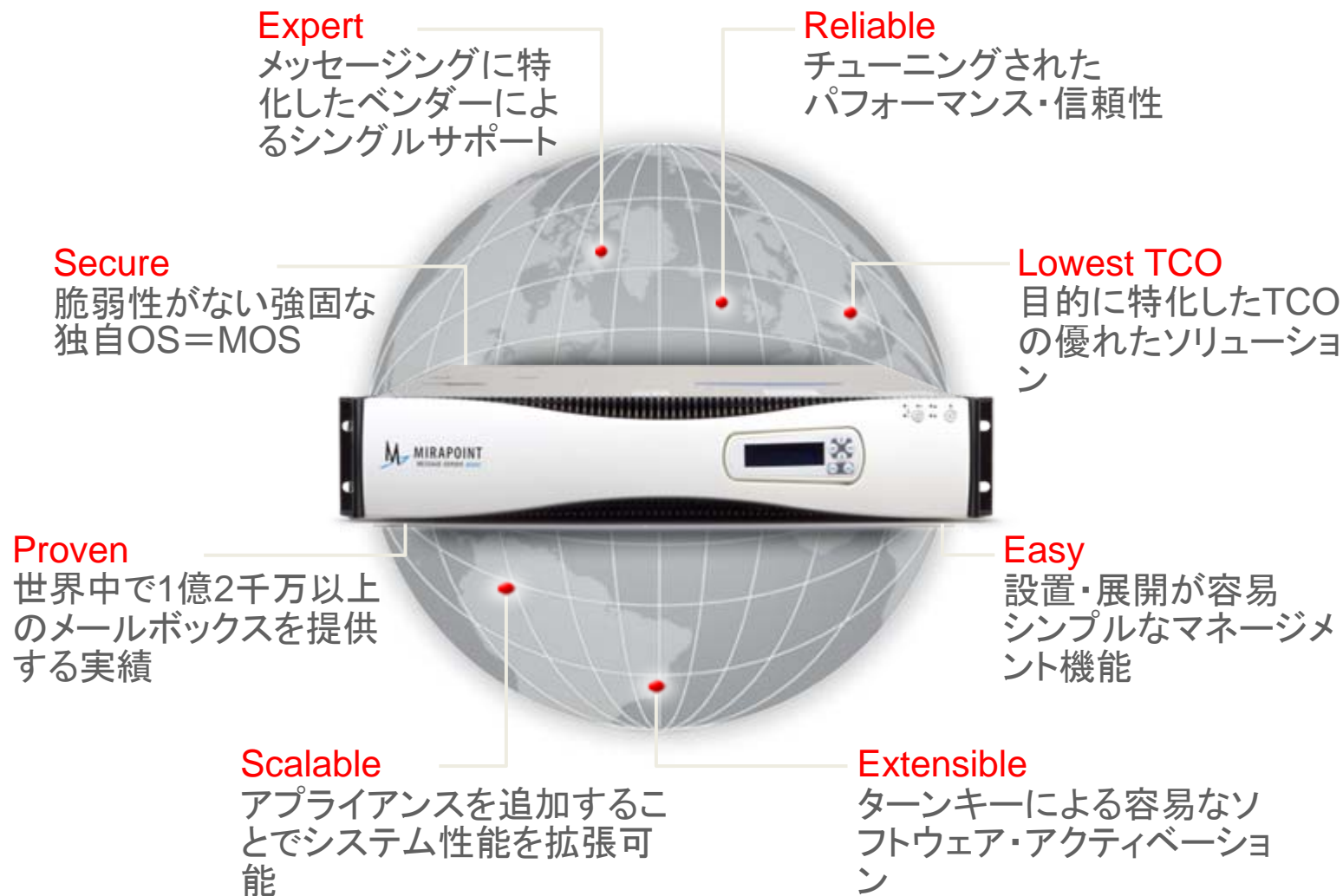
メールセキュリティ

- 電子メールのウイルス・スパム対策
- POP/IMAPのセキュリティー確保
- OMTA機能

Webメール&カレンダー

- シンクライアントへの第一歩
- 高速なWebmail環境を提供

なぜミラポイントのアプライアンス機器なのか



まとめ：TCOの優れたアプライアンスの特長

アプライアンスとは・・・

事前設定済みのハードウェアとソフトウェアを組み合わせ、
特定用途向けに高度に最適化した製品

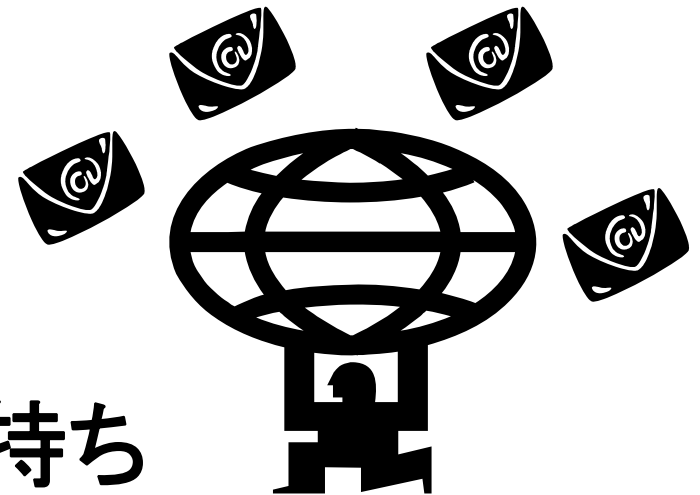
真の「Set and Forget」ソリューション
(設置後は手間がかからない)

導入が簡単

運用管理が簡単

メンテナンスフリー

縁の下での力持ち



お礼のご挨拶

以下のような詳細事項はお気軽に弊社までお問い合わせください。

営業からの詳しい説明

御社向けセミナーの実施

御社のメール状況に合わせたサイジング

仕様書作成のための製品の詳細情報

評価

販売代理店になるご興味など

お問い合わせ先

ミラポイントジャパン株式会社

03-5431-0256

Info-j@mirapoint.com

Mirapoint, RazorGate, MirapointロゴはMirapoint, Software, Incならびにミラポイントジャパン株式会社の登録商標です。
その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お礼

最後まで、資料をご覧いただきありがとうございます。
メールを目的に既にチューニングされたコンポーネントをワンボックスに収めたMirapoint Message Serverの特長をご紹介させていただきました。

以下のような詳細事項はお気軽に弊社までお問い合わせください。

- 営業からの詳しい説明
- 御社向けセミナーの実施
- 御社のメール状況に合わせたサイジング
- 仕様書作成のための製品の詳細情報
- 評価
- 販売代理店になるご興味など

お問い合わせ先

ミラポイントジャパン株式会社

03-5431-0256

Info-j@mirapoint.com